

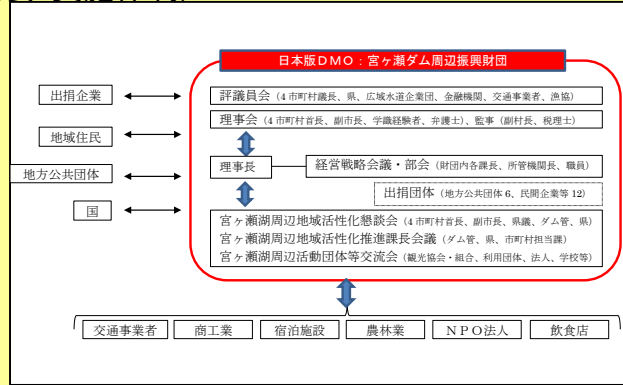
【区域】 神奈川県 (全域)愛川町、清川村
(一部地域)相模原市、厚木市
【設立時期】 平成4年10月1日

【代表者】 理事長 和田 久

【マーケティング責任者】
常務理事兼事務局長 宮崎 仁男

【職員数】 121名
【連携する主な事業者】 各市町村観光協会・組合、小田急、神奈中等

(表:実施体制)



(表:KPI(実績・目標)) 外国人観光客は今後検討

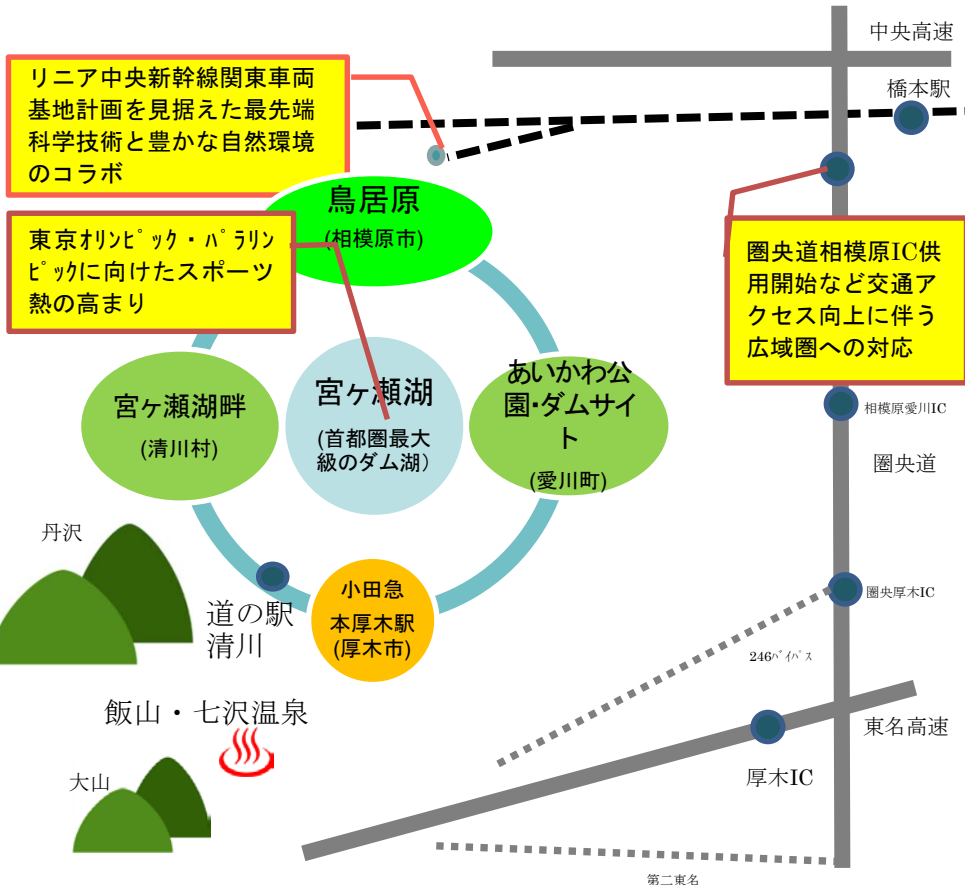
	27年 (度)	28年 (度)	29年 (度)	30年 (度)	31年 (度)	32年 (度)
旅行消費額	1,126,702 千円	1,139,000	1,147,000	1,155,000	1,164,000	1,171,000
延べ宿泊者数	85 千人	84	84	85	85	85
来訪者満足度	80.3 %	86.8	81	82	82	82
リピーター率	86.9 %	86.5	87	87	87	87

A(観光施設)に関する取組

- 総合案内・ワンストップ機能の強化
広域圏に向けた広報戦略の実施
みやがせミーヤ館ワンストップ機能充実
- 3拠点の回遊性の向上
湖上交通である遊覧船の活用
ロードトレイン、インクラインの乗物運行
- 楽しみながら健康増進ができる環境づくり
グランドゴルフ、自転車の駅
レクリエーション・アスレチック施設整備
- 半原地域における観光・産業連携拠点
づくり構想

B(自然)に関する取組

- 水源環境理解促進事業
自然観察会、自然体験型イベント
花の日(宮ヶ瀬・あいかわ公園)
宮ヶ瀬自然ガイドの育成・活用
- 森と湖の中での本格的なスポーツ体験
宮ヶ瀬湖24時間リレーマラソン
清川やまびこマラソン、宮ヶ瀬湖マラソン
大会、東丹沢トレイルレース
- カヌーの宮ヶ瀬事業の充実
カヌースクール、レンタルカヌー、Eポート
- 自然公園、都市公園の維持管理



C(文化)に関する取組

- 自然環境や地場産業と結びつけた
体験学習の場
工芸工房村
愛川織維会館レインボープラザ
- 宮ヶ瀬湖周辺の自然や歴史の情報発信
水の郷交流館(清川村)
愛川町郷土資料館
- 土木技術の粋を結集した首都圏最大級
ダム、県内初のメガソーラ、最先端の
科学技術であるリニア計画などの活用

D(イベント・商業施設)に関する取組

- 地域活性化に向けた魅力あるイベント
みやがせフェスタ、伝統工芸体験
宮ヶ瀬クリスマス、あいかわ公園つつじ
まつり、ふるさとまつり花火大会 等
- 道の駅清川、水の郷商店街、鳥居原ふれ
あいの館など、観光商業施設との連携
- 宮ヶ瀬オリジナルグッズの充実
かやねずみ、カジカガエル等をモチーフに
した独自商品の充実
- 宮ヶ瀬へのアクセス上にある飯山・七沢
温泉施設との連携